

●演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：74 歳，女性

主訴：下痢

27日前，術後創部感染に対するデブリードマン目的のため入院．入院当日に緊急手術が施行された．創部より緑膿菌が検出されたため，セフェピム 1g，8 時間毎の治療が開始された．セフェピムでの治療継続中であったが，2 日前より 4～5 回/日の水様～軟便（プリストルスケール 6～7）と発熱がありクロストリジウムディフィシル感染症（clostridium difficile infection: CDI）を疑った．

薬歴：ロキソプロフェン，ランソプラゾール

検査値

BUN	クレアチニン	Na	K	CRP
8.8mg/dL	0.5mg/dL	146mEq/L	2.8mEq/L	3.57mg/dL

白血球	ヘモグロビン
4730/ μ L	9.5g/dL

演習課題 1

以下の設問に回答してください。

- 1) 必要な検査を挙げてください。
- 2) CDI 治療の選択薬を挙げてください。
- 3) 感染制御で気をつけないといけないことを挙げてください。
- 4) 治療の効果判断基準を挙げてください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：82 歳，男性

主訴：下痢，発熱

検査結果と症状より CDI と診断．メトロニダゾール錠が処方されるも嘔吐により内服が困難であった．また，食道裂孔ヘルニアのため経鼻胃管の挿入が困難であった．

演習課題 2

経口投与できない場合の CDI 治療薬の選択をし，投与方法を選択してください．